

令和3年度 創進学園高等学校 学校自己評価

学校運営計画			
学校運営方針	自己の可能性にチャレンジし、新しい時代に活躍できる心身ともに健康な人間を育てる。		
昨年度の成果と課題	今年度の重点目標	具体的目標	
<p><成果></p> <p>挨拶については、生徒自らが少しずつ実践できるようになってきた。社会性育成の観点からも更なる育成に努めたい。</p> <p>進路資料を充実させ、情報を提示することによって、目的意識の早期構築につながる端緒となった。</p> <p><課題></p> <p>① 基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成</p> <p>② 基礎学力の定着と家庭学習の習慣化</p> <p>③ 希望する進路実現に向けた意識の向上と家庭との連携および共通理解</p>	基本的な生活習慣の確立と生徒指導の充実	全教職員の共通理解のもと、端正な身なり・挨拶・時間厳守等の習慣を身につけさせる。生徒指導を行う上で基盤となる、教員と生徒の共感的な人間関係をつくる。	
	基礎学力及び学習意欲の向上	家庭学習定着のための指導の工夫。生徒一人一人に応じたきめ細かい指導。進学や資格取得を目指し、学校生活に目標を持たせる。ICT機器を効率的に活用して新たな学びに対応させる。	
	希望する進路の実現	進路・学年・保護者間で緊密な連携をして進路指導を行う。進路ガイダンスや大学説明会、企業見学等を通して、有益な情報を提供する。生徒が志望校・科目選択を正しく行えるように、的確な受験指導を行う。	
デザイン・アートコース・キャリアコース共通			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価
生徒指導	「あ・じ・み三原則」の定着	“あいさつ・時間厳守・身だしなみ”の習慣づけと定着への積極的な声掛け指導を行い、意識させる。	B
	メディアリテラシーの向上	SNS等で誹謗中傷をしない、させないために、生徒に思いやりの心を育ませ、人間関係を工夫させる。学校生活の中で、集団を意識させ、公共の場であるという意識を持たせる。	B
	環境美化意識の向上	各教室や階段、その他場所について、丁寧な掃きそうじと週1日以上の水拭き掃除を徹底させる。職員も細やかな清掃指導を心がけ、全校で奉仕の心を育む。	C
保健	健康の維持	生徒が自ら健康課題について考え、判断し、行動できるような実践的な能力や態度を身につけるよう指導と支援に努める。ま	A

指導		た、保護者面談や保健室だより等の様々な機会を通じて、保護者へ啓発する。	
	健康上の課題に対応	心身に、健康上の課題がある生徒の把握を的確に行い、その指導と支援について保護者、家庭との連絡を密にする。そのため、普段から教職員同士のコミュニケーションを図り、課題に対して適切に対応する。	A
	関係者との連携	保護者・専門機関との情報交換を密にし、連絡体制を形成する。	A

デザイン・アートコース

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価
学習指導	授業の充実	日々の授業に集中することを通して学ぶ喜びに気づかせる。	A
	予習復習の実施	1人ひとりが学習習慣をより確かなものにする。	B
	学習「課題」の取り組み	自ら積極的に課題に取り組み、創造力を高めるようにする。	A
進路指導	自己の発見	早期に自己の特性に気づかせる。	A
	進路目標の決定	自己の目標について具体的な方策を確立させる。	B
	目標実現のための取り組み	自ら計画し、意欲的・積極的に学習に取り組み、自己の目標を達成させる。	B

キャリアコース

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価
学習指導	生徒目線に立った授業改善に努める。授業中、生徒一人一人のつまづきを見過ごさないよう努める。	机間指導を充実させ、授業時間内の生徒一人一人の状態をきめ細かく把握し、つまづいている生徒がいればその場で解決するように努める。	B
	I C T機器を活用して視覚的教材を授業に取り入れる。	I C T機器を随時活用して視覚的教材を取り入れ、理解しやすくするよう努める。	B
	レポートを確実に提出させ、学びの好循環につなぐ。	レポートについては、その日の授業内容に該当する部分を授業時間内で行わせたり、レポート本体に細かく教材のページ数を示したりして解きやすくし、レポートを確実に提出できるように授業者が工夫する。	B
進路指導	体系的な進路指導を図る	進学、就職に向け、模擬試験、小論文、面接、志望理由書等の指導を行う。	B
	進路情報の迅速な提示	進路資料の精選と提示を工夫し、活用しやすい状況を提供していく。	A

	主体的な進路選択の支援	面談等を通じ、個々人に寄り添った進路指導を行い、可能性を引き出す。進路ガイダンス等を端緒とし、進路意識を高め、進路実現のためにすべきことを意識できるようにする。	A
成果と課題	<p><生徒指導></p> <p>年2回の服装検査を行い、身だしなみに対する意識を高めた。また、長期休み前の集会で資料を配付し、生徒指導上の注意事項を理解させた。個に応じた清掃分担を行い、校内の美化に努めた。次年度は、「あ・じ・み三原則」の定着では生徒手帳に基づいたルールの遵守の徹底を、メディアリテラシーの向上では思いやりの心を育ませるはたらきかけを、環境美化意識の向上では職員の細やかな清掃指導の徹底を課題としたい。</p> <p><保健指導></p> <p>生徒の心身の健康について、普段から教職員同士のコミュニケーションを図り、課題に対して適切に対応してきた。今後とも共通理解を図りながら生徒並びに保護者の支援に当たっていききたい。</p> <p>【デザイン・アートコース】</p> <p><学習指導></p> <p>学年ごとに生徒の特性を踏まえて指導を行った。家庭学習の様子を各担任が確認、指導を行い、定期考査への意識向上、学力向上について個別指導を行った。例年より家庭学習等の定着は見られたが、模擬試験への意識の弱さと対策が課題である。また、長期休暇には実技入試の対策講座などを行い、学力・実技共に向上するよう努めた。</p> <p><進路指導></p> <p>各学年に合わせた進路決定へ向けて各々の計画をしっかりと立て、実行できるようにワークシートを作成し活用した。また、美術を幅広く活かす進路を意識できるよう校舎内に大学短大のパンフレット置き場を設置。日頃から自分たちで積極的に進路について意識し行動できるようにした。まだ、「職業」への意識、定着が低いため次年度はより掲示の工夫などをもっと改善していく。</p> <p>【キャリアコース】</p> <p><学習指導></p> <p>コロナ禍のため机間指導が不十分であった。ICT教育も科目によってプロジェクターを使用し視覚的に行われたが、科目によっては全く行われていない。プロジェクターの数も限られているので、新たな導入が必要である。レポートについては大体の生徒は期限を守れたが、一部の生徒で遅くなった者もいた。</p> <p><進路指導></p> <p>段階的に進路意識を高められるよう、目的意識をもって臨める進路行事を計画した。さらに、進学や就職に関する進路資料等を生徒の手に届くように掲示や配付を工夫した。今後は</p>		

<p>様々な進路行事が、結果として生徒自身の主体的な進路選択を促す端緒となるよう更なる工夫が必要である。また、教員間で進路情報を共有できるよう最新の進路に関する情報は速やかに回覧し、生徒個人々人に応じた進路指導の際に役立つようにする必要がある。</p>
--

※評価は3段階(A・B・C)で行う。